

鴻島会報

第1号

1993
12月号

中央地区
自治会
広報委員

創刊にあたって！

鴻島中央地区自治会は、別荘地開発者の倒産という不測の事態が引き金となり、昨年発足しました。先行きに対する不安と戸惑いの渦巻く混乱の中での船出にも拘らず、嶋会長を初めとする初代役員の方々の並々なご努力により、自治会としての基本路線を確立して頂きました。今年度は、自治会の活動や島や町の出来事などを皆さんにお伝えする場として、また、皆さんのご意見発表の場として「こうじま会報」を企画しました。皆様のご協力をお願いします。

5年度活動方針

- 一、別荘所有者相互のコミュニケーションの確立
別荘の置かれた現状を知り、自治会活動の必要性を理解するための情報伝達。
- 二、日生町鴻島町内会との相互理解と協調
別荘自治会活動は、町内会との協調が必要であり、そのため相互理解を深める。
- 三、別荘地としての環境保全（整備）
必要な保全事項を把握し、その実現についての具体的方策や費用分担等について町、町内会、その他関係者と対話し、決定する。
- 四、自治会の活動
会員の親睦を図り、かつ地区発展と環境保全を目的とし、地域社会と協調しそ

5年度活動事項

〔事業委員会〕

- 1 草刈り・側溝掃除
- 2 放置自動車撤去
- 3 街灯増設
- 4 消火栓増設
- 5 栈橋問題
- 6 ふれあいの会準備
(嶋相談役)
- 7 その他

〔会員委員会〕

- 1 会員の掌握
- 2 会則改訂・周知
- 3 車ステッカー
- 4 船ステッカー
- 5 各戸の連絡箱設置

〔広報委員会〕

- 1 こうじま会報
- 〔レク委員会〕
釣大会等の企画・運営

のための行事を行なうもの
です。
自治会は、別荘の管理を行なうものではありません。個々に交わされる別荘の管理契約を妨げるものではありません。

自治会からのお願い

自治会費の未納の方がありません。出来るだけ早く納めて下さい。
来島の際にはゴミを出されるでしょうし又会報や総会の通知も行きます。浄化槽の機能も止まります。汲取もあふれるでしょう。お困りになるのはあなたであり、会員の皆さんです。

ゴミ処理、浄化槽点検及び汲取りについて

一、ゴミ問題

もともと鴻島は、燃えるゴミ・生ゴミについては、自家処理となっており、町の回収のない地域です。

中央地所が手を引いた後は、ゴミの回収はされず、悪臭を放ち、ウジが湧く最悪の状態でした。

ゴミの問題は、自治会発足と同時に、最優先課題として取り組み、費用を一部負担すること（法律に基づき）交渉がまとまり、ゴミステーションが設置され、町の委託業者による回収もされるようになりました。

ゴミ処理費用は、5年度も前年と同じく、一戸当たり月千円を徴収することになりました。

「徴収金が高い」との意見や「もつと回数を増やさない」と、悪臭が立ちこめ、臭い汚水が流れ出して、島に住んでいるものは迷惑している」との島の意見もあります。

ゴミの処理費を考えるに、ゴミはどのくらい発生するものなのか、どのくらいの頻度で回収すればよいのか、また、それらの季節変動は、などを把握しなければなりません。

しかし、今のところ実績に乏しくそれらを把握するのは難しいことです。

当分は、実績を見ながら検討することにします。

二、浄化槽点検費及び汲取り費（衛生管理費）

*自治会は浄化槽や汲取りの管理をするものではありません。

*衛生管理費については、単に集金を依頼されているものではないです。

したがって、衛生管理費は自治会会費でも活動費でもありません。

浄化槽の保守点検は浄化槽法で定められたもので、浄化槽を設置すれば、使用回数に関係なく、条例等で定められた回数、定期的に行なわれるものです。実際の点検作業は委託業者が行いますが、別荘の場合は、

イ、家の場所がわからない
ロ、費用の請求先が不明
ハ、費用を請求しても支払ってもらえない
などの問題があり、自治会に家の明示と集金を依頼されたものです。

また、浄化槽の電源を切つて帰る家もあり、浄化槽の機能が維持されていないケースが多いこと。さらに浄化槽は使用する水の量が多い。などのことから、町は3年ほど前から、汲取り式にするよう指導しています。

汲取りの場合は、いっばいになれば汲取りを頼まなければなりません。個人で頼むと、一回6万円前後の費用が掛かると聞いています。

現在、鴻島の別荘には浄化槽と汲取りの家があります。これは、私達の選択で決まったものではなく、行政指導によるものです。

費に差がでるのは不合理です。

汲取り費用についても、浄化槽の場合と同じく、自治会でまとめて集金を行なうことで浄化槽と同じく年間三万二千四百円（年3回の汲取）にするように、4年度の自治会活動で交渉して頂いたものです。

以上のようなことから、浄化槽の場合も汲取りの場合も一律に、衛生管理費として年間三万二千四百円を自治会費と一緒に納入して頂くことにしたものです。

衛生管理費の納入は、浄化槽の家は勿論、汲取りの家も対象に考えています。

めったに使用されない家であっても、何らかの原因で汲取り槽に雨水か地下水が入り溢れ出して近所に迷惑が掛かったケースもあつたと聞いています。

点検を兼ねて、年3回の汲取り契約にご賛同下さい。

ただし、別荘の管理とともに浄化槽または汲取りの管理を個人的に委託され、キッチンと処理される場合までは自治会がまとめるものではありません。

★各戸に、簡単な物で結構ですから連絡便受け（郵便受け）を設置願います。

現在、連絡書類等は窓やドアの透き間に差し込まれていますが、風や雨のため紛失して、うまく伝達されていません。ご理解頂いてご協力願います。

★別荘といえども社会生活の場が変わりません。人里離れた隠遁の地でもなければ、治外法権の地でもありません。

やはり、遵守すべき法律もあり、社会的道義も存在します。ナンバープレートのない車の使用、廃車の放置、不法駐車などはお互いに慎みましよう。鴻島が、何をやって許される無法の島のイメージになること、何を置いても避けなければなりません。

★会員各位の方々に住所が変わられたらお知らせ下さい。又売却をされた方、購入された方の住所をお知らせ下さい。連絡しても2・3通戻ってまいります。

広告募集
自治会費で出版しております。予算が少ないので会員の方の広告をお願いします。何かのお役に立てると存じます。

二行分、千円

お願いこと

★各戸に、簡単な物で結構ですから連絡便受け（郵便受け）を設置願います。

現在、連絡書類等は窓やドアの透き間に差し込まれていますが、風や雨のため紛失して、うまく伝達されていません。ご理解頂いてご協力願います。

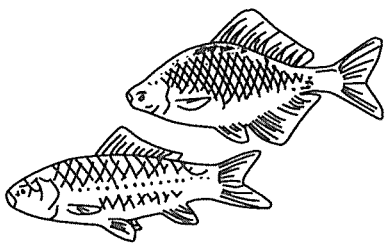
★別荘といえども社会生活の場が変わりません。人里離れた隠遁の地でもなければ、治外法権の地でもありません。

やはり、遵守すべき法律もあり、社会的道義も存在します。ナンバープレートのない車の使用、廃車の放置、不法駐車などはお互いに慎みましよう。鴻島が、何をやって許される無法の島のイメージになること、何を置いても避けなければなりません。

★会員各位の方々に住所が変わられたらお知らせ下さい。又売却をされた方、購入された方の住所をお知らせ下さい。連絡しても2・3通戻ってまいります。

広告募集
自治会費で出版しております。予算が少ないので会員の方の広告をお願いします。何かのお役に立てると存じます。

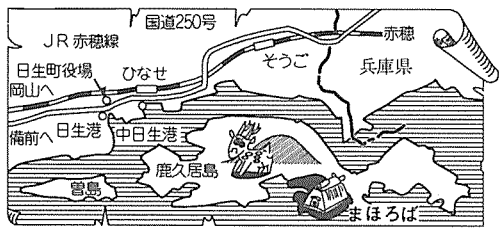
二行分、千円



古代体験の郷・まほろば

高床式住居で”生活”

周囲二十八キロの県下最大の島、野生のニホンジカの生息する島として知られる鹿久居に今年四月に弥生時代後期(三〜四世紀)の高床式住居が”復元”された。古代人の生活体験ができる研究施設自然あふれる島で、煩わしい日常生活を忘れ、心身のリフレッシュを目指す家族連れや子供会などのグループの人気を集めている。



国立公園に指定されている島の南中央部の斜面の約十二ヘクタールの敷地に古代の高床式住居、竪床式住居、高床式穀倉など二十一棟が点在。小豆島、四国、家島諸島などの瀬戸内海の多島美も楽しめる。縄文式土器が出土した鹿久居千軒遺跡に近い国有林を借り、同町が平成元年度から約六億円の事業費で宿泊研修施設として建設した。

古代米の赤米を使った海草の雑炊、野菜や魚を主体にした古代食「まほろば鍋(なべ)」で、弥生人の食生活の一端に触れられる。利用者がそれぞれに工夫をして過ごす。火起こしや竹細工、土ひねり、貝殻細工。郷長雪吉興之さんの指導で、竹タンポや海岸で拾った貝殻で首飾り作りも楽しめる。海岸では海水浴、カヌー遊びもできる。

夜や早朝には野生のシカが敷地内に姿を見せることもあり、夜中に走り回る足音が宿泊客を驚かせることもたびたび。高校時代の友人三人で、訪れた広島市西区のグラフィックデザイナー下田宏子さん(二九)は、「いろいろでの食事作りなど珍しい体験もできた。テレビがなくても、波の音や虫の声があり、寂しくなってきた。自然に合わせた古代の人の生活ぶりが身近に感じられ、心身とも快楽になった」と、満足していた。

(山陽新聞より)

棧橋問題について

今年の台風で各所の棧橋が破損し皆様には大変御不便を御掛けしましたが10月16日に旧棧橋設置者の方と当方役員4名で御会いして御相談させて頂き過去の常態を聞きました。

島の5ヶ所の棧橋は全部無許可で撤去命令が出て居る常態です。そこで自治会として何とか会の棧橋をと現在検討中です。

現在船隠し(赤トンボ前)は復元しましたが旧所有

者のご厚意で費用は半分負担で復元しました桃の木の棧橋の破損も避難港として必用です。破損箇所も修理してあります。

エグゼ(ストーク前)も修理されました。しかし今時迄もと言う訳には行きません。そこで自治会の方で専用棧橋をと思つて居る所です。許可条件も県町漁業組合と複雑で許可について漁業保証問題(お金)も有ります。これも1年で終わりでなく毎年の事です。

棧橋はボート所有者だけの物ではなく会員全員がなんらかの形で使用して居る物です。ので会員の皆様の御理解を戴ける様御願ひして、まずは御知らせ致します。

第3回 ふれあいの会 について

今回は自治会(中央 大林)2者の共同で地元の方に はなるべく御迷惑をかけずに開催しました。又町役場の御好意により小学校の校庭を使用させて頂きました。多数の皆様御参加を戴きました。歌手でも皆さんのカラオケで賑わいました。ジャンケン大会の勝者岡田さんより獲得された賞金を北海道災害

義援金として田原町長に渡し 領収書をいただいております。(海水浴場義援金)又 鴻島の人達でいかやきと会員の方々のお寿司にたこやきが好評であり何とか終了。反省としてお弁当が粗まつとの苦情の声が有まして調べ てみて私も納得した次第です。

次回迄には勉強して御不満の無い様に致したいと思つて居る次第です。今後も自治会が迷惑かけている町内(島の 人)との融和と自治会会員同志のふれあいの会にしたいと思つております。

今後とも宜しく御指導下さい います様、御願ひして先ずは 御報告。最後になりましたが 役員始め有志の方々に沢山の 景品の寄付をいただきありが とうございました。厚く御礼 を申し上げます。

「台風で破損した棧橋」 長い間、放棄されたま、の 連絡船棧橋が十一月中旬に修理され、固定された元の形に なりました。

嶋 忠弘

自治会の活動報告

ゴミについて。ご協力ありがとうございます。まだまだ2・3の人達が家の前や道端にゴミを置いて帰られます。止めて下さい。又燃えるものと燃えないものが一緒です。区割けをお願い致します。

○草刈りと水道管 九月初めより二十日間程で地区の草刈りをやりました。刈った方々の話では何年も放つてあり刈りにくいとの事です。年に2・3回は必要かと思ひます。又同時に水道管が

草の中に立ちあがりがあり数ヶ所切りました。九月末に地上に出た水道管48ヶ所補修しました。会員さんの近くにまだ出ていたら事務局(72)3440迄連絡下さい。

○海水浴場(亀の浦)町役場よりグラウンドに車を駐車しても良いとの許可をもらいました(但しグラウンドが乾いている時)シャワーも二ヶ所あります(一回100円)便所の扉も修理出来ました。浜のゴミも燃してもらいました(毎日)

○台風がたくさん来ました。被害のある家屋は連絡しました(外見しか見えない)一戸一戸みるのではありませんので連絡の届かない所があり申訳ありません。

○島内町内会に、亡くなられた方が二名あり香典を供えてあります。

・宮総代上田一市氏 母堂
・町内会々長上田豊延氏 母堂

今後の自治会 活動について

ゴミの管理 清掃業者の方より燃えるゴミと燃えないゴミの区別が不十分との苦情がきていますので一度しっかりと区別をして出して下さいませに皆様の御協力を御願ひ致します。

ステッカー 来期より毎年ステッカーの色が変わります。船舶所

有の方(ジェットバイク含む)は自治会よりステッカーの取付をお願い致します ステッカーを取付てないばあい棧橋の係留が出来ない事があります。

自治会費を納められた方は事務局の方へステッカーを取りにきて貼つて下さい

車の撤去 路上に止めてあるナンバープレートのない車は撤去します。持主の方はすぐに移動して下さい。

防犯燈 5ヶ所に防犯燈を取り付ける予定です。

草刈、溝掃除 4月頃に草刈、溝掃除をする予定です。

鴻島での出来事

◇山火事3月12日昼過ぎ、島の南面、中央地区の山ひとつが焼ける大きな山火事がありました。島には、消防署もなく消防車もないにもかかわらず、島在住の方々の献身的な消火活動で、まわりの別荘十数軒は一軒の被災もありませんでした。連絡で駆けつけた別荘の人の話では、島の男の人は勿論、女の人も子供も老人も島総出でバケツリレーで別荘を守って頂いたそうで

す。 出火原因は、残材焼却中の飛び火だそうです。 みなさん、火の始末には十分ご注意下さい。 また、消火作業をされた人々からの強い要望として、別荘を建てている人は勿論、土地だけの人も、自分の土地の雑草刈りは責任もつてして下さいということでした。

雑草に火がつくと大火事になります。

◇雑草、枯れ葉、側溝のゴミを取り、積み上げてあります。不用意なタバコの不始末など火事が心配です。

◇車のトラブルで、島の人の温かい手助けに感謝。 桜の花が美しい4月のある日、ご婦人運転の車が桜の花にみとれて、路肩を踏みはずし、立ち往生してしまいました。

幸いご婦人には怪我はありませんでしたが、車の処置に困り果てていたところ、動かなくなった車を日生の修理工場まで運んで頂くなどいろいろと島の人の温かい手助けを受けられたそうです。

ご婦人は大変感謝されておられました。

又その反対に海水浴場で女性5・6人の若い人達が泳いでいて魚にさ、れ、動けなくなり島の人達に助けられタクシーで病院に連れて行つてもらったのです。手をうけ別荘には帰られましたがそれで終わりでしょうか。何らかの連絡をされてもいいのではないのでしょうか。

す。